

墨田川略年表

西暦	年号	干支	事 跡	備考	徳川将軍
1590年	天正18年	庚寅	8月豪雨で浅草千束・不忍池洪水。9月26日街割で日本橋本町出来。10月井の頭より江戸城迄引水(神田上水)	8月1日徳川家康江戸入城	
1591年	天正19年	辛卯	佃島の漁がここからはじまる。	2月千利休自刃	
1592年	文禄1年	壬辰	江戸城西北の地を大番組に与え一番町から六番町と命名。「高麗陣」用の軍船2隻を浅草川で建造。	文禄の役	
1593年	文禄2年	癸巳	3月代官頭:伊奈忠次に千住大橋架橋を命じる。日比谷の入江埋め立て。江戸湾で捕鯨。	小笠原諸島発見	
1594年	文禄3年	甲午	3月代官頭:伊奈忠次が千住大橋架橋。		
1595年	文禄4年	乙未	徳川氏 金貨鑄造(武蔵小判)。舟町と四日市の橋のためとで銭甕が掘出され、それよりこの橋を銭甕橋という。	江戸で金座ができる	
1596年	慶長1年	丙申	1月連日豪雨、浅草～葛西で死者300～400名。深川八郎右衛門ら6人が深川を開く。	4月浅間山噴火	
1597年	慶長2年	丁酉	千住宿、奥州路の人馬の継場村となる。	慶長の役 3月浅間山噴火	
1598年	慶長3年	戊戌	3月江戸大風で江戸城北の門倒壊、船舶多数うが覆没。	8月豊臣秀吉(63)卒	
1599年	慶長4年	己亥	6月下総・上総・武蔵大風。		
1600年	慶長5年	庚子	6月多摩川に六郷橋架橋。	9月関ヶ原の戦い	
1601年	慶長6年	辛丑	火事:11月2日-日本橋駿河町から出火、当時の全市を焼く。草ぶき禁止令。	慶長大判・小判など造る	
1602年	慶長7年	壬寅	6月1日日本橋馬喰町以外での馬売買の禁止。		
1603年	慶長8年	癸卯	3月江戸市街工事着手。日本橋架橋。	2月徳川家康:征夷大將軍	初代/徳川家康
1604年	慶長9年	甲辰	江戸城大改修始まる。4月暴風雨、隅田川など諸河川氾濫。12月関東に大地震、津波発生	日本橋を五街道の基点とする	初代/徳川家康
1605年	慶長10年	乙巳	牢屋敷、大橋下から日本橋小伝馬町に移る。		2代/徳川秀忠
1606年	慶長11年	丙午	5月暴風による出水、品川沖で工事運搬船多数難破。9月江戸城本丸工事終了、秀忠が入る。		2代/徳川秀忠
1607年	慶長12年	丁未	2月20日出雲の阿国、城内にて歌舞伎上演。4月24日朝鮮通信使が来日、初めて江戸に入る。	4月天守閣・北の丸造営	2代/徳川秀忠
1608年	慶長13年	戊申	6月11日 4月の長雨で関東などで洪水が起きる。	9月小石川伝通院造営	2代/徳川秀忠
1609年	慶長14年	己酉	7月14日 喫煙が禁止される。この年、江戸の人口15万人(日本見聞録より)。	5月城内で四座猿楽勧進能開催	2代/徳川秀忠
1610年	慶長15年	庚戌	8月25日琉球を征伐した島津家久が琉球王尚寧をつれて江戸に入る。		2代/徳川秀忠
1611年	慶長16年	辛亥	街道筋(駄賃馬の制)。5月17日龍の口汐入堀が伊達政宗の普請担当で開削。		2代/徳川秀忠
1612年	慶長17年	壬子	3月西国大名に江戸湊の船着き場築場を命じる(八丁堀川など開削)。		2代/徳川秀忠
1613年	慶長18年	癸丑	6月7日神田明神社の天王神輿が江戸城に入る(天王祭りの起こり)。	12月キリスト教禁止令	2代/徳川秀忠
1614年	慶長19年	甲寅	8月28日年来まれなる大風、家屋の被害多数。深川八郎右衛門隅田川口東岸地区を開拓。	10月大阪冬の陣	2代/徳川秀忠
1615年	元和1年	乙卯	6月1日大地震、詳細不明。日本橋通二丁目に白粉・鬢付油を扱う「柳屋」創業。	5月大阪夏の陣	2代/徳川秀忠
1616年	元和2年	丙辰	神田川北岸鳥越村を拓き神田久右衛門町、浅草瓦町、浅草平右衛門町を起立。	4月徳川家康(75)卒	2代/徳川秀忠
1617年	元和3年	丁巳	4月江戸、連日暴風雨で洪水。庄司甚右衛門が日本橋葦屋町に遊郭開設の官許得る(翌年開業)。		2代/徳川秀忠
1618年	元和4年	戊午	溝普請奉行阿倍正之が、江戸道路巡視・水道支配を命じられる。		2代/徳川秀忠
1619年	元和5年	己未	長谷川豊前が西久保八幡宮境内の「時の鐘」をつくる。		2代/徳川秀忠
1620年	元和6年	庚申	諸大名に命じ、隅田川本所堤・日本堤を修築。鳥越の丘を崩して隅田川西岸を埋め米蔵を建てる。		2代/徳川秀忠
1621年	元和7年	辛酉	利根川第二次改修工事開始。		2代/徳川秀忠
1622年	元和8年	壬戌	12月川船奉行設置。		2代/徳川秀忠
1623年	元和9年	癸亥	深川海辺大工町一帯の開発が進み、川船の港町が出来る。		3代/徳川家光
1624年	寛永1年	甲子	8月利根川・太日川氾濫で亀有・葛西から隅田川東岸まで洪水。	2月勘三郎中橋で歌舞伎を初興行	3代/徳川家光
1625年	寛永2年	乙丑	千住宿を日光街道中の初宿に指定。赤堀川の開削が始まる。	11月東叡山寛永寺建立	3代/徳川家光
1626年	寛永3年	丙寅	9月船手頭石川政次が隅田川河口の砂洲を与えられる。10月遊郭・葎原を吉原と改称。		3代/徳川家光
1627年	寛永4年	丁卯	6月将軍家光が浅草川で船遊、御家人の水馬訓練をみる。 8月隅田川洪水。		3代/徳川家光
1628年	寛永5年	戊辰	7月11日江戸に地震。		3代/徳川家光

1629年	寛永6年	己巳	伊奈忠治により荒川の流路切り替え工事がおこなわれ、在来の荒川幹流は元荒川となる。	2月水戸藩:小石川に後楽園造営	3代/徳川家光
1630年	寛永7年	庚午	6月23日地震。下谷・三味線堀の掘割を造る。	8月山王権現社が麴町に移転	3代/徳川家光
1631年	寛永8年	辛未	8月14日関東大洪水、大風家屋を壊し樹木を折る。	9月町奉行:2名制で町方を所轄	3代/徳川家光
1632年	寛永9年	壬申	4月中橋の中村勘三郎芝居などを禰宜町(現中央区)に移す。		3代/徳川家光
1633年	寛永10年	癸酉	1月21~26日東海から江戸にかけて地震(小田原地震)。4月~6月連日降雨、千住・浅草など特に被害大。		3代/徳川家光
1634年	寛永11年	甲戌	7月江戸城西丸全焼。村山又三郎が日本橋・上塚町に村山座を興す(のち市村座と改称)。		3代/徳川家光
1635年	寛永12年	乙亥	1月25日地震。6月家光、品川沖で安宅丸を観る。	6月参勤交代制度化	3代/徳川家光
1636年	寛永13年	丙子	6月橋場の銭場で寛永通宝を鑄造(浅草銭・御蔵銭)。浅草見附御門が建立(隅田川に一番近い見附)。	3月高田の馬場完成	3代/徳川家光
1637年	寛永14年	丁丑	深川海辺大工町に奥川船の湊築かれ、奥川筋の水運始まる。	11月島原の乱	3代/徳川家光
1638年	寛永15年	戊寅	1月1日暴風雨。東照宮再建資材を内川水運利用して輸送(荒川を外川に対する名称)。		3代/徳川家光
1639年	寛永16年	己卯	江戸城火災:8月11日-本丸焼失。8月家光が隅田川で網漁をみる。	7月鎖国制度完成	3代/徳川家光
1640年	寛永17年	庚辰	近江国鑄造師:釜屋六右衛門らが芝の海辺で鑄物業を始める。	1月旗本に節約令	3代/徳川家光
1641年	寛永18年	辛巳	火事:1月29日-京橋から出火、新橋・木挽町など延焼。火事:3月30日-日本橋から出火、箔屋町など延焼。	3月木場が日本橋から深川移転	3代/徳川家光
1642年	寛永19年	壬午	3月岡村子兵衛、木挽町に山村座を開く。3~7月大飢饉、米価高騰で死者多出。		3代/徳川家光
1643年	寛永20年	癸未	1月家光が隅田川筋で鷹狩をする。足立の農民、伝右川・小溜井(綾瀬川旧川道)を造成。	9月大名火消誕生	3代/徳川家光
1644年	正保1年	甲申	5月家光が隅田川で尾張の鶴匠の鶴飼を見る。8月連日豪雨で墨田川氾濫、幕府検分使を各所に派遣。	7月谷中感応寺 五重塔建立	3代/徳川家光
1645年	正保2年	乙酉	火事:12月15日異本橋富沢町から出火、吉原全焼。佃島渡し船始まる。	江戸で瓦が焼き始めた	3代/徳川家光
1646年	正保3年	丙戌	浅草蔵奉行・城米蔵奉行に、蔵米管理の法令を出す。	11月大名の江戸廻米禁止	3代/徳川家光
1647年	正保4年	丁亥	3月隅田川大念仏盛んとなる。銚子から利根川えを遡り、江戸川を下って江戸に至る航路が開ける。	9月皇弟親王が輪王寺門跡	3代/徳川家光
1648年	慶安1年	戊子	1月新河岸の名が検地帳にでる(初見)。7月暴風雨。	浅草寺五重塔建立	3代/徳川家光
1649年	慶安2年	己丑	6月~7月大地震。家光が浅草神社拝殿を造営。	2月慶安の御触書	3代/徳川家光
1650年	慶安3年	庚寅	3月23日大地震。深川方面に被害。	6月浅草寺観音堂普請開始	3代/徳川家光
1651年	慶安4年	辛卯	5月河岸通りの材木積み方に関する町触がでる。	丸橋中弥ら幕府転覆を謀る	4代/徳川家綱
1652年	承応1年	壬辰	8月暴風雨による風水害。甲府綱重が海手下屋敷(後:浜御殿)を拝領。	6月若衆歌舞伎禁止	4代/徳川家綱
1653年	承応2年	癸巳	2月11日代官伊奈忠治が玉川上水開削奉行を命じられる。		4代/徳川家綱
1654年	承応3年	甲午	6月玉川上水完成。赤掘川の開削により利根川の流路に大きな変化が現れる。	4月玉川上水:江戸市中に通水	4代/徳川家綱
1655年	明暦1年	乙未	11月町方の塵芥の川への投棄禁止。		4代/徳川家綱
1656年	明暦2年	丙申	7月隅田川の舟遊びについての規制が行われる。		4代/徳川家綱
1657年	明暦3年	丁酉	振袖火事(江戸三大火災) :1月18日-本郷丸山町の本妙寺から出火、死者10万余人、400町延焼、江戸2/3消失。	8月遊郭:吉原を浅草千束に移す	4代/徳川家綱
1658年	万治1年	戊戌	7月坪内籐右衛門、柴山権左衛門が両国橋架橋の奉行を命じられる。		4代/徳川家綱
1659年	万治2年	己亥	12月両国橋完成。本所開発の本格化(堅川横川、亀有上水などの開削工事開始)。	砂村新左衛門ら深川で新田開発	4代/徳川家綱
1660年	万治3年	庚子	火事:1月14日-湯島門前から出火。伊奈忠克による葛西用水路開削(本所への給水開始)	本所村の田地収公進む	4代/徳川家綱
1661年	寛文1年	辛丑	火事:1月27日-小石川から出火、銀座・木挽町まで類焼。小名木川通りの新堀-開削。	大幅な屋敷替で武家が本所移転	4代/徳川家綱
1662年	寛文2年	壬寅	5月9日 塵芥は幕府指定の塵芥船で破棄、その処理を一括請負制にする。源森橋創架(後・枕橋)。	ゴミは船で回収、江戸湾に破棄	4代/徳川家綱
1663年	寛文3年	癸卯	源森川を開削して大横川を墨田川に通じさせる。	11月塵芥の運搬に料金徴収	4代/徳川家綱
1664年	寛文4年	甲辰	9月町々の塵芥運搬賃値上げ。	旗本奴:水野十郎左衛門切腹	4代/徳川家綱
1665年	寛文5年	乙巳	北新掘河岸に船見番所を設置。	市中に銭湯が普及始める	4代/徳川家綱
1666年	寛文6年	丙午	3月千住大橋の改架工事着工。5月隅田川氾濫、両国橋は杭柱を流される。	1月下水奉行廃止、上水奉行制	4代/徳川家綱
1667年	寛文7年	丁未	2月竹町の渡し再開。小塚原に回向院建立。	5月墮胎禁止	4代/徳川家綱
1668年	寛文8年	戊申	火事:2月4日-下谷から出火、両国橋焼落ち深川に延焼。町火消し組合が改正「いろは」48組設立。	3月この頃より観桜が盛んになる	4代/徳川家綱
1669年	寛文9年	己酉	北本所出村・柳島町など、本所一円が町屋になる。	江戸枅と京枅の統一	4代/徳川家綱
1670年	寛文10年	庚戌	8月24日本所、深川出水。	辻番所内の店借・食物販売禁止	4代/徳川家綱

1671年	寛文11年	辛亥	8月29日連日暴風雨隅田川洪水。10月両国橋防御の触れ出し。	伊達騒動	4代/徳川家綱
1672年	寛文12年	壬子	源森川の大横川寄り地埋め立、隅田川から大横川への水路断ち切る。	浄瑠璃坂の仇討	4代/徳川家綱
1673年	延宝1年	癸丑	火事:1月27日-鷹匠町から出火、大手辺・京橋通など類焼。	市川団十郎:初めて荒事の狂言	4代/徳川家綱
1674年	延宝2年	甲寅	11月日本橋川南本材木町に新規の魚市場ができる。	松尾芭蕉:深川に移住	4代/徳川家綱
1675年	延宝3年	乙卯	2月大飢饉で柳原土手下に御救小屋立てる。6月代官伊奈忠易が小笠原諸島を探検し帰着。	辻駕籠が300挺に限り許可。	4代/徳川家綱
1676年	延宝4年	丙辰	火事:11月7日-吉原から失火、「新吉原」最初の大火。		4代/徳川家綱
1677年	延宝5年	丁巳	船中での踊り【踊り船】が流行。		4代/徳川家綱
1678年	延宝6年	戊午	1月関東各河川に【川船極印奉行】3名を置き河川を改める。	7月渋川春海が秋分点観測	4代/徳川家綱
1679年	延宝7年	己未	4月幕府が勅使一行を隅田川にて饗応。		4代/徳川家綱
1680年	延宝8年	庚申	8月5日夜暴風雨、6日高潮発生、家屋の倒壊続出。		5代/徳川綱吉
1681年	天和1年	辛酉	6月ゴミ捨て場を永代島新田と砂村新田の2ヶ所とする。	11月米価高騰、3万俵御救米下賜	5代/徳川綱吉
1682年	天和2年	壬戌	お七火事 :12月28日-駒込大円寺から出火、明暦大火以後の大火災。7月屋形船の大きさを規制。	9月軍船「安宅丸」廃船	5代/徳川綱吉
1683年	天和3年	癸亥	1月1日大雨 洪水。5月木場材木置き場に建築制限令。	屋根番制始め	5代/徳川綱吉
1684年	貞享1年	甲子	6月屋形船の無届建造禁止令。	天文方新設、渋川春海を任命	5代/徳川綱吉
1685年	貞享2年	乙丑	両国橋架橋出来る。	1月渋川春海の新暦「貞享暦」頒布	5代/徳川綱吉
1686年	貞享3年	丙寅	3月利根川(江戸川)で下総国葛飾郡を二分-西を武蔵・東を下総とする。	11月そばなど火を持ち歩く商売禁止	5代/徳川綱吉
1687年	貞享4年	丁卯	12月運送用船以外にも川船奉行の極印を受ける触れ出し。	生類憐みの令	5代/徳川綱吉
1688年	元禄1年	戊辰	本所経営再開。10月本所時の鐘再興。11月本所上水修復開始(翌年通水)。	9月神田祭:神輿など初めて城内入り	5代/徳川綱吉
1689年	元禄2年	己巳	3月芭蕉が【奥の細道】への旅たち。	11月渋川春海が本所邸内で天文台設置	5代/徳川綱吉
1690年	元禄3年	庚午	2月御厩河岸の渡しが定渡船場として許可。 6月30日隅田川出水。	3月浅草蔵前通り広小路になる	5代/徳川綱吉
1691年	元禄4年	辛未	2月本庄因幡守宗資が本所(横綱1丁目)に3千余坪の屋敷地を拝領(旧・安田庭園の地)	10月深川富岡八幡宮の鐘が鑄造	5代/徳川綱吉
1692年	元禄5年	壬申	9月本所鐘楼銭の徴収を始める。	11月質屋総代を設ける(市中質屋登録)	5代/徳川綱吉
1693年	元禄6年	癸酉	7月 水戸邸の本所小梅村移転(新大橋創架の為)。12月新大橋架橋。	8月本所奉行、再度任命	5代/徳川綱吉
1694年	元禄7年	甲戌	8月8日 隅田川出水、新大橋も被害を受ける。	10月松尾芭蕉(51)卒	5代/徳川綱吉
1695年	元禄8年	乙亥	火事:2月8日-四谷伝馬町から出火、芝浦海岸に及ぶ。綾瀬川改修。	6月四谷に犬小屋完成	5代/徳川綱吉
1696年	元禄9年	丙子	9月両国橋改架完成。12月千川上水完成。	6月大地震	5代/徳川綱吉
1697年	元禄10年	丁丑	2月町人が願い出て永代浦干潟を開発(後の木場) 10月12鎌倉大地震。	7月元禄の地方直し	5代/徳川綱吉
1698年	元禄11年	戊寅	永代橋完成、8月1日開通。 中堂火事・勅額火事 :9月6日-南鍋町数寄屋河岸から出火の大火。	11月内藤新宿開設	5代/徳川綱吉
1699年	元禄12年	己卯	2月米蔵を谷の蔵から築地海岸に移転。幕府材木蔵を猿江に移転。	コロリがはやる	5代/徳川綱吉
1700年	元禄13年	庚辰	2月深川永代島6万坪埋立て成り、深川佐賀町の材木問屋が移転し、木場の名がおこる。	8月浅草溜設置(無宿人ほど収容)	5代/徳川綱吉
1701年	元禄14年	辛巳	材木置場が猿江から深川9万坪に移転(後の木場)。	3月播州赤穂藩主浅野長矩が切腹	5代/徳川綱吉
1702年	元禄15年	壬午	12月赤穂浪士が本所松坂町の吉良邸を襲撃して義央を討ち取る。	10月柳沢吉保、駒込に六義園完成	5代/徳川綱吉
1703年	元禄16年	癸未	水戸様火事 :11月29日-小石川の水戸藩邸から出火、永代橋焼失・中村座・市村座も類焼。	俳諧の冠付が始まる	5代/徳川綱吉
1704年	宝永1年	甲申	7月5日利根川決壊、本所・深川浸水、永代・両国橋損壊で死者多数。利根川、荒川の治水工事着手。	2月市川団十郎が生島半六に殺傷	5代/徳川綱吉
1705年	宝永2年	乙酉	3月18日竹長の渡船転覆、死者40余人。 6月3日市中での花火打ち上げ禁止令	4月お蔭参りが流行	5代/徳川綱吉
1706年	宝永3年	丙戌	火事:1月14日-神田から出火、日本橋堺町まで延焼、中村座など焼失。8月4日墨田川の屋形船100艘に限定。	9月地震	5代/徳川綱吉
1707年	宝永4年	丁亥	宝永の大噴火 :11月20日富士山が噴火し、江戸市中に灰が雪のように降り積もる。9月浜御殿築造。	10月江戸で大地震	5代/徳川綱吉
1708年	宝永5年	戊子	3月18日八王子千千人同心が困窮のため、江戸防火任務を解任。	8月疱瘡や赤痢が流行	5代/徳川綱吉
1709年	宝永6年	己丑	9月将軍家宣、浜御殿で諸艦船の訓練を観る。	1月生類憐れみの令廃止	6代/徳川家宣
1710年	宝永7年	庚寅	10月両国橋修理で通行止、その間渡船。12月両国橋改修工事完了。	5月大木戸が札の辻から高輪に移転	6代/徳川家宣
1711年	正徳1年	辛卯	火事:12月11日-神田連雀町町から出火、日本橋も半焼。深川越中島が町(越中島町)になる。	3月辻駕籠が600挺に制限	6代/徳川家宣
1712年	正徳2年	壬辰	火事:2月8日-浅草浅草寺から出火、本所の大半焼失。2月23日-新材木町から出火、箱崎町・大川端焼失。	「目明し」の使用禁止	7代/徳川家継

1713年	正徳3年	癸巳	5月江戸近郊の市街地が町奉行支配になる。12月22日下谷茅町から出火-深川に飛び火、洲崎まで延焼。	江戸の町数933町	7代/徳川家継
1714年	正徳4年	甲午	1月利根川・荒川改修工事。9月浅草に鑄銭場を設ける。	3月江島生島事件	7代/徳川家継
1715年	正徳5年	乙未	12月11日南八丁掘・深川の漁民と大森・花田郷漁民と獵場紛争で訴訟。	10月浅草春海(77)卒	7代/徳川家継
1716年	享保1年	丙申	火事:1月1日-麴町大名小路から出火-木挽町迄延焼。10月浅草鑄銭場を廃止。	7月疫病大流行。	8代/徳川吉宗
1717年	享保2年	丁酉	火事:1月22日-小石川馬場から出火、日本橋・京橋を焼き鉄砲洲・八丁堀一帯を延焼。隅田堤に桜を植樹。	2月大岡忠助:町奉行に任命	8代/徳川吉宗
1718年	享保3年	戊戌	2月12日中川へのゴミ投棄禁止 火事:12月11日-上野から出火、本所へ飛び火。	12月町火消の組合設置	8代/徳川吉宗
1719年	享保4年	己亥	8月永代橋架橋完成。9月新大橋架橋完成。10月葛西新用水完成。	5月浅草寺本堂の修復が開始。	8代/徳川吉宗
1720年	享保5年	庚子	6月両国橋改橋のため渡船になる。町火消し組合が改正、「いろは」48組となり、纏幟の制度が設けられる。	9月飛鳥山に桜の苗木を植える	8代/徳川吉宗
1721年	享保6年	辛丑	火事:1月8日-日本橋呉服町から出火、八丁堀・鉄砲洲に延焼。2月佃漁民に千住大橋~上豊島間の漁獵許可	7月評定所に目安箱設置	8代/徳川吉宗
1722年	享保7年	壬寅	3月11日火事見廻りが初めて設置。9月本所・千川・青山・三田各上水を廃止。深川門前町が賑わう。	6月手習師匠の氏名・弟子数を調査	8代/徳川吉宗
1723年	享保8年	癸卯	6月墨田川筋の両国橋から永代橋西岸は3ヶ年以内に塗り土蔵造に改造すべき触れを出す。	8月火の見櫓の設置義務化	8代/徳川吉宗
1724年	享保9年	甲辰	火事:1月30日-京橋加賀町から出火、芝口門、浜御殿一部炎上。2月15日-浅草本願寺から出火、本所へ飛び火。	2月物価引下令が発令	8代/徳川吉宗
1725年	享保10年	乙巳	猿江材木蔵跡入掘が埋立で、今後塵芥は6万坪(豊住付近)へ捨てる触れ出し。	芝居茶屋がで始める	8代/徳川吉宗
1726年	享保11年	丙午	5月深川町民による永代橋の橋銭徴収の願いを許可。	12月辻駕籠数の制限撤廃	8代/徳川吉宗
1727年	享保12年	丁未	1月永代橋改架。9月2日前月以来の風雨のため関東緒川」が氾濫。		8代/徳川吉宗
1728年	享保13年	戊申	9月3日江戸で大風雨で洪水-諸橋落失、小石川辺二階まで浸水。10月両国橋仮橋架かる。	12月神田川の水捌け改善工事	8代/徳川吉宗
1729年	享保14年	己酉	火事:2月15日-浅草聖天町から出火、本所石原、吉田町まで延焼。3月両国橋、新大橋修復工事完了。	隅田川と利根川の分離工事施行	8代/徳川吉宗
1730年	享保15年	庚戌	1月豎川沿岸住民に豎川の浚渫を命じる。塵芥捨場を永代神田から越中島に移す触れ出し。	6月両国橋修理工事	8代/徳川吉宗
1731年	享保16年	辛亥	火事:4月15日-目白台より出火、浜御殿付近まで延焼。北足立郡(埼玉県)の見沼通船掘が開通。	6月富士講行者が富士山頂で入定	8代/徳川吉宗
1732年	享保17年	壬子	火事:3月28日-浅草・巢鴨より出火、本所・深川に飛び火。8月両国橋・新大橋以外の橋修復・改架は入札制。	全国的飢饉で疫病流行	8代/徳川吉宗
1733年	享保18年	癸丑	1月25日江戸市内に米騒動。2月江戸廻米の禁を解き、新麦の江戸回送を命じる。	1月享保の打壊	8代/徳川吉宗
1734年	享保19年	甲寅	5月町内埋没の旧本所上水樋を掘り出す出願を許可。6月17日大雨で両国橋仮橋が流出。	9月上水組合年番定める	8代/徳川吉宗
1735年	享保20年	乙卯	3月千住掃部宿に市場開設、五穀特に玄米を扱う。	本郷三丁目東門に「かねやす」開店	8代/徳川吉宗
1736年	元文1年	丙辰	8月23日永代橋の橋銭徴収を再度許可。	6月銭不足で蓄銭禁止	8代/徳川吉宗
1737年	元文2年	丁巳	2月本所小梅村で寛永通宝銭の鑄造を始める。11月吉宗、深川亀高村(北砂4丁目)で鷹狩を行う。	6月物価高の為地代・店賃3割値上許可	8代/徳川吉宗
1738年	元文3年	戊午	火事:12月29日-浅草草原町から出火、駒形堂とその近辺を焼き、本所へ飛び火。	呉服太物商「大丸屋」日本橋に開店	8代/徳川吉宗
1739年	元文4年	己未	火事:1月19日-佃島で殆んど全戸焼失、漁具購入のため金五百両拝借を許可。6月本所押上村で鑄銭。	7月玉川上水請負人、不正で罰せられる	8代/徳川吉宗
1740年	元文5年	庚申	3月伝奏・大納言冷泉為久が幕府の招待で隅田川遊覧。	3月市中の畳屋・畳刺の人別調査	8代/徳川吉宗
1741年	寛保1年	辛酉	1月21日強風時の町方役人の見回り区域を江東方面に広げる。		8代/徳川吉宗
1742年	寛保2年	壬戌	江戸期最大の水害。8月1~8日両国橋杭流失、新大橋・永代橋損じる。	5月両国橋渡舟往来人数調査	8代/徳川吉宗
1743年	寛保3年	癸亥	1月1日両国橋改架工事の参考として千住大橋の構造調査 3月新大橋修理。	7月芝浜松町で草市が始まる	8代/徳川吉宗
1744年	延享1年	甲子	5月両国橋改架工事・竣工。8月19日江戸湾に津波発生。	12月米売買取締で米屋組合を組織	8代/徳川吉宗
1745年	延享2年	乙丑	六道の火事 :2月12日-青山六道辻から出火、焼失家屋2万8千軒。		9代/徳川家重
1746年	延享3年	丙寅	坪内火事 :2月28日-築地坪内権左衛門邸から出火、中村座・市村座を焼き小塚原で鎮火。	12月神田佐久間町に天文台を建てる	9代/徳川家重
1747年	延享4年	丁卯	4月川舟支配の職名を川舟改役とし、勘定の上席とする。	このころ、大阪の義太夫節流行	9代/徳川家重
1748年	寛延1年	戊辰	2月20日本所・深川の地が江戸払刑の地域になる。	4月上野不忍池改修、新町誕生	9代/徳川家重
1749年	寛延2年	己巳	8月13日 江戸川・神田川の下流の出水激しく、架かった橋の殆どが流失。	8月神田上水引用者組合設置	9代/徳川家重
1750年	寛延3年	庚午	4月大風・雹ふる、本所辺に竜巻。12月大吹雪、積雪3尺余。	宗十郎頭巾が流行	9代/徳川家重
1751年	宝歴1年	辛未	4月23日雹・大風により本所あたりに竜巻発生、家屋倒壊・死傷者でる。5月3日山王祭の華美禁止。	6月徳川吉宗(68)卒	9代/徳川家重
1752年	宝歴2年	壬申	8月12日本所の船持が自費で隅田川豎川入り口から一之橋までの浚渫をおこなう。	12月加賀騒動	9代/徳川家重
1753年	宝歴3年	癸酉	4月27日本所柳原6丁目(江東橋2丁目)豎川沿いに將軍の船着場を造る。	1月中村座で「京鹿子娘道成寺」初演	9代/徳川家重
1754年	宝歴4年	甲戌	9月隅田村御前裁畑の作付品種が豊富となる。	10月貞亨暦廃止、宝暦甲戌暦採用	9代/徳川家重

1755年	宝歴5年	乙亥	2月28日防火用天水桶・水溜桶を各町で用意の触れ 12月両国橋修復。		9代／徳川家重
1756年	宝歴6年	丙子	大学火事 :11月23日-麴町八代洲河岸・林大学頭邸から出火。	6月米価高騰の生活苦を訴え奉行所参集	9代／徳川家重
1757年	宝歴7年	丁丑	5月～7月 関東長雨、江東方面出水。	9月田村藍水が湯島で物産会を催す	9代／徳川家重
1758年	宝歴8年	戊寅	3月佃島住吉神社大破で廻船は江戸入津際、大船は米1升・小船は米5合奉納(3ヶ年)。		9代／徳川家重
1759年	宝歴9年	己卯	6月両国橋改修中の渡舟による往來人数の調査実施(明け六つより暮れ六つまで2万261名)。		9代／徳川家重
1760年	宝歴10年	庚辰	神田火事 :2月6日神田旅籠町から出火、永代橋・新大橋を焼失。	日本橋新和泉町玉鉄(現玉ひで)開店	10代／徳川家治
1761年	宝歴11年	辛巳	火事:6月-堺町の芝居小屋から出火、芝居街は全焼・乗物長町・新材木町河岸まで焼失。		10代／徳川家治
1762年	宝歴12年	壬午	4月平賀源内が湯島で物産会開催。	4神田祭りを翌年延期の触れ	10代／徳川家治
1763年	宝歴13年	癸未	6月歌舞伎女形二代目荻野八重桐の隅田川溺死事故。	11月神田紺屋町に朝鮮人参座設置	10代／徳川家治
1764年	明和1年	甲申	8月7日千住など宿場の飯盛女の増員が許可。12月25日各町火消組に、防火用具の竜吐水支給。	日本橋小網町に海苔の「山形屋」開業	10代／徳川家治
1765年	明和2年	乙酉	6月平井満右衛門らが洲崎の東に汐除土手を築き25万坪余の土地(平井新田)を開く。	鈴木春信が始めて錦絵を創作	10代／徳川家治
1766年	明和3年	丙戌	6月29日連日豪雨、隅田川増水で千住大橋流失。	1月長柄傘の使用禁止	10代／徳川家治
1767年	明和4年	丁亥	火事:4月9日-八丁堀から出火、日本橋・京橋まで延焼。	狂歌が流行し始める	10代／徳川家治
1768年	明和5年	戊子	火事:4月6日-新吉原大火、仮宅営業許可。9月5日上水管理が町奉行から普請奉行に移管。	町人の間で尺八人気が高まる	10代／徳川家治
1769年	明和6年	己丑	火事:2月23日-本所一ツ目から出火。3月4日佃島の渡船転覆、死者30余人。	11月上水請負人・見廻り役廃止	10代／徳川家治
1770年	明和7年	庚寅	5月去年の佃島渡船転覆事故の責任者処分申し渡し(船頭長十郎・遠島など)。	9月米価高騰で粥食奨励	10代／徳川家治
1771年	明和8年	辛卯	3月4日小塚原刑場で刑死人の解剖実施。6月16日大川端三俣の洲埋立て市街を造成(9千坪)、富永町と命名。	「江戸っ子」がこの年の川柳に初登場	10代／徳川家治
1772年	安永1年	壬辰	行人坂の大火(江戸三大火災) :2月29日-目黒行人坂の大円寺から出火、死者1万4700人、934町延焼。	12月神田白堀渡橋下水組合設置	10代／徳川家治
1773年	安永2年	癸巳	1月12日深川万年町銀吹替所が竣工、銀貨鑄造を始める。	前年から春にかけ疫病流行(死者16万人)	10代／徳川家治
1774年	安永3年	甲午	10月17日隅田川に吾妻橋(大川橋)が架けられる。	投扇が流行	10代／徳川家治
1775年	安永4年	乙未	5月両国橋改架工事が竣工。	恋川春町「金々先生栄花夢」(黄表紙の始)	10代／徳川家治
1776年	安永5年	丙申	7月浅草首尾の松、2度目の植替。12月26日町人の宗門人別改帳を寺社奉行から町奉行が集める。	11月平賀源内がエレキテルを完成	10代／徳川家治
1777年	安永6年	丁酉	9月両国の見世物小屋からオオカミ脱走、あたりを騒がす。	恋川春町の画作が大流行	10代／徳川家治
1778年	安永7年	戊戌	2月12日-日本橋石町から出火、霊岸島・深川に飛び火、佃島ほぼ全焼。	7月伊豆大島三原山が噴火	10代／徳川家治
1779年	安永8年	己亥	3月伊豆大島三原山で大噴火、爆音が江戸中に響く。	10月桜島の火山灰が江戸に降る	10代／徳川家治
1780年	安永9年	庚子	6月29日 月初から連日降雨、各河川増水し両国・永代・新大橋破損。	十八大通が現れる	10代／徳川家治
1781年	天明1年	辛丑	7月11大風雨で隅田川出水、千住大橋・新大橋・永代橋・大川橋(吾妻橋)破損	11月本所回向院大相撲が大繁盛	10代／徳川家治
1782年	天明2年	壬寅	8月21日風雨、両国橋水溢れる。浅草田圃の酉の市、この頃から流行る。	8月千川上水竣工	10代／徳川家治
1783年	天明3年	癸卯	7月6日浅間山大噴火、江戸に灰がふる。火事:12月-浅草鳥越から出火、本所横網町に飛火・深川平野延焼。	9月蔦谷重三郎が日本橋に進出	10代／徳川家治
1784年	天明4年	甲辰	4月救済のため日本橋土手蔵・深川佐賀町・浅草の町蔵で米を廉売。千住大橋現在の位置に架橋(3度目)。	2月武州一揆(多摩郡農民が蜂起)	10代／徳川家治
1785年	天明5年	乙巳	10月関東各河川の通航の極印改めを強化。	夏～秋 日照りのため凶作	10代／徳川家治
1786年	天明6年	丙午	7月12日～18日まで連続豪雨で大洪水、下谷・本所で大被害、寛保以来の大水害。	諸国で飢饉発生	11代／徳川家斉
1787年	天明7年	丁未	5月20日 市中に米騒動(打ち毀し)おこり、関東郡代伊奈忠尊に飢民救済を命じる。	3月 天明の大飢饉	11代／徳川家斉
1788年	天明8年	戊申	12月江戸市内(朱引地)を東～本所・深川、西～四谷大木戸、南～品川、北～板橋・千住と定める。	10月長谷川平蔵:火付盗賊改に任命	11代／徳川家斉
1789年	寛政1年	己酉	10月17日中洲新地取り払い、元の水面とする。	11月谷川と小野川に横綱の免許される	11代／徳川家斉
1790年	寛政2年	庚戌	8・9月約1ヶ月を隔てた風水災、どちらも津波発生。10月永代橋改架工事(12月竣工)	5月出版統制が一段と厳しくなる	11代／徳川家斉
1791年	寛政3年	辛亥	8月6～8日 暴風雨・津波。 9月4日暴風雨。	3月山東京伝:禁令に触れ手鎖50日の刑	11代／徳川家斉
1792年	寛政4年	壬子	2月糶倉を浅草向柳原に設ける。5月21日町会所で窮民の救済開始。	四谷大木戸廃止	11代／徳川家斉
1793年	寛政5年	癸丑	火事:10月25日-湯島より出火、日本橋まで延焼。12月千住大橋改架工事竣工。	7月松平定信罷免	11代／徳川家斉
1794年	寛政6年	甲寅	桜田火事 :1月10日-麴町から芝新銭座町までを焼く大火。本所三之橋が釣橋となる。	5月蔦谷重三郎が写楽の役者絵を刊行	11代／徳川家斉
1795年	寛政7年	乙卯	6月15日大雷雨発生で芝増上寺境内など26ヶ所に落雷。	岡場所50余ヶ所を取り潰す。	11代／徳川家斉
1796年	寛政8年	丙辰	2月1日鉄砲洲十軒町に伊豆諸島産物交易会所(約600坪)設置。	12月琉球使節が登城	11代／徳川家斉

1797年	寛政9年	丁巳	4月両国橋改架工事竣工。火事:11月22日神田佐久間町から出火、木場まで延焼。	11月宝暦甲戌暦廃止、寛政暦を使用	11代/徳川家斉
1798年	寛政10年	戊午	森川新大橋際その他隅田川沿岸に靱倉を建て不時の災害に備える。	6月岡本万作が神田で常設寄席をつくる	11代/徳川家斉
1799年	寛政11年	己未	3月1日霊岸島に蝦夷地物産会所設置。12月中之郷・天祥寺境内で掘抜井戸工事で十数尋で清泉湧出。	7月千社札を張り歩くこと禁止	11代/徳川家斉
1800年	寛政12年	庚申	6月25日銀座が京橋新両替町から日本橋蠣殻町へ移転を命じられる。	葛飾北斎「東都名所一覽」刊行。	11代/徳川家斉
1801年	享和1年	辛酉	3月勘定奉行中川忠英に命じ本所筋の川浚と道造に当たらせる。4月浅草・本所御米蔵増設。	浅草に越後屋(現(駒形どぜう))開店	11代/徳川家斉
1802年	享和2年	壬戌	5月銭瓶橋際の神田上水吐水汲渡世人数と船数を調査し鑑札再発行。6月25日からの雨天で隅田川・荒川出水。	十返舎一九「東海道中膝栗毛」開始	11代/徳川家斉
1803年	享和3年	癸亥	3月4日 暮六つ時過ぎ大地震 発生 8月柳原堤の際に靱蔵を建てる。	煎茶の会が流行する	11代/徳川家斉
1804年	文化1年	甲子	駒形どぜう・越後屋創業。本所中之郷北野屋平八、寺島村の武家屋敷の跡地を買い花園(後百花園)を開く。	5月喜多川歌麿:禁令で手鎖50日の刑	11代/徳川家斉
1805年	文化2年	乙丑	12月三之橋、改架して再び脚橋となる。	2月芝神明社で相撲取と火消しの喧嘩	11代/徳川家斉
1806年	文化3年	丙寅	丙寅火事(車町火事・牛町火事(江戸三大火災)) :3月4日-高輪泉岳寺門前牛町から出火した大火災。	投扇が流行	11代/徳川家斉
1807年	文化4年	丁卯	8月深川八幡祭礼時、永代橋崩落 440人水死。	葛飾北斎:「吾妻名所図会」なる。	11代/徳川家斉
1808年	文化5年	戊辰	3月小名木川・堅川・日本橋川の浚渫。	10月米価高騰で米穀払い下げを行う	11代/徳川家斉
1809年	文化6年	己巳	火事:1月1日-日本橋佐内町から出火、本所表町辺まで焼く。	2月菱垣廻船問屋が三橋会所を設立	11代/徳川家斉
1810年	文化7年	庚午	3月千住大橋 改架なる。7月16日 暴風雨本所深川出水。	38文均一の安売り店出現	11代/徳川家斉
1811年	文化8年	辛未	火事:2月11日市谷谷町から出火、麻布・芝まで延焼。7月家斉浜苑への途次隅田川で家臣の水馬訓練を観る。	12~19文の大安売りの店が多くできる	11代/徳川家斉
1812年	文化9年	壬申	火事:11月21日-竜泉寺村から出火、吉原新町全焼、本所番場町まで焼く。	11月大地震	11代/徳川家斉
1813年	文化10年	癸酉	火事:11月30日-日本橋高砂町から出火、葦屋町芝居小屋全焼、乗物町まで延焼。	6月蕎麦を食と死ぬの俗説で蕎麦屋客無	11代/徳川家斉
1814年	文化11年	甲戌	1月11日大風禍。2月百花園に亀田鵬斎の「墨沓海壮記」碑、建つ。	曲亭馬琴:「南総里見八犬伝」初編	11代/徳川家斉
1815年	文化12年	乙亥	4日光東照宮・家康の二百年忌法会用荷物運搬のため墨田・寺島村から人足66名、馬11頭千住宿へ動員。	10月千住で酒飲み比べが盛大に開催	11代/徳川家斉
1816年	文化13年	丙子	火事:5月3日吉原京町から出火、遊郭全焼。8月3~4日 大風雨、津波による洪水。	4月疫病が流行、死者多数	11代/徳川家斉
1817年	文化14年	丁丑	火事:1月12日-新乗物町から出火、塚町・葦屋町の芝居街・人形町通りまで類焼。	5月柳橋の万八楼で大食い大会開催	11代/徳川家斉
1818年	文政1年	戊寅	火事:10月17日-浅草隨身門前から出火、本所割下水から深川まで焼く。	9月江戸の範囲の「江戸朱引図」作成	11代/徳川家斉
1819年	文政2年	己卯	火事:2月8日-京橋・新肴町から出火、銀座・尾張町・より築地に延焼。	7月物価引下げ令出る	11代/徳川家斉
1820年	文政3年	庚辰	1月10日 深川洲崎土手外を薬草植付け所とする。10月 南千住・素盞雄神社境内に「芭蕉旅たちの碑」建立。	10月俳諧・諸芸などの会合開催を取締	11代/徳川家斉
1821年	文政4年	辛巳	8月 西両国広小路でオランダ渡来のペルシャ産ラクダ、見世物となる。	伊能忠敬:「大日本沿海実測図」なる	11代/徳川家斉
1822年	文政5年	壬午	8月22日 大風雨、津波による洪水おこり深川木場辺出水。駒形うなぎ「前川」創業。	十返舎一九「東海道中膝栗毛」完結	11代/徳川家斉
1823年	文政6年	癸未	8月17日 大風雨にて高汐押上、本所深川俄に出水床上まで押上る。12月両国橋修復工事成る。	4月大田南畝(75)卒	11代/徳川家斉
1824年	文政7年	甲申	火事:2月1日-神田三河町から出火。8月13日 連日暴風雨、隅田川増水、永代橋破損。12月永代橋改架工事。	中川芳山堂「江戸買物独案内」刊行	11代/徳川家斉
1825年	文政8年	乙酉	火事:12月19日-葦屋町芝居小屋から出火、元坂町・人形町一帯類焼。大川橋(吾妻橋)改架工事。	2月異国船打払令	11代/徳川家斉
1826年	文政9年	丙戌	12月 本所一ツ目の水戸藩石置場(千歳1丁目)に米のせり市場再開。	3月オランダ商館医シーボルトが江戸到着	11代/徳川家斉
1827年	文政10年	丁亥	火事:1月3日-葦屋町から出火、塚町・芝居街・芳町・人形町辺り類焼。	7月婦人と医師以外日傘使用禁止	11代/徳川家斉
1828年	文政11年	戊子	7月2日 連日豪雨隅田川増水、両国橋小破。8月2日豪雨で新大橋破損。	8月シーボルト事件	11代/徳川家斉
1829年	文政12年	己丑	己丑火事・佐久間町火事 :3月21日-神田佐久間町二丁目から出火、佃島へ飛び火。	深川佐賀町の船場屋の羊羹が名物	11代/徳川家斉
1830年	天保1年	庚寅	8月 前年の火災焼土で築地・南飯田町先の海面を埋め立てる(1216坪余)。	浅草茅町二丁目に人形店「久月」開業	11代/徳川家斉
1831年	天保2年	辛卯	火事:12月23日-小伝馬町から出火、大伝馬町・新材木町・葦屋町に類焼。	葛飾北斎:「富嶽三十六景」	11代/徳川家斉
1832年	天保3年	壬辰	向島長命寺境内に「長命水」の碑建立。	8月鼠小僧次郎吉(38)獄門	11代/徳川家斉
1833年	天保4年	癸巳	10月 両国回向院境内g江戸相撲の定場所となる(年2回小屋掛けで興行)	歌川広重:「東海道五十三次」	11代/徳川家斉
1834年	天保5年	甲午	甲午火事 :2月7日-神田佐久間町から出火、中村座・市村座が類焼。	葛飾北斎:「富嶽百景」	11代/徳川家斉
1835年	天保6年	乙未	7月1日 墨田川増水、漂流船により両国橋破損。	9月天保通宝が鑄造	11代/徳川家斉
1836年	天保7年	丙申	7月18日 連日豪雨、洪水海辺に津波。	斉藤月岑:「江戸名所図会」完成	11代/徳川家斉
1837年	天保8年	丁酉	2月築地南飯田町埋立地続き海手埋め立てる(968坪)。	歌川広重:「江戸近郊八景」	12代/徳川家慶
1838年	天保9年	戊戌	6月16日 連日降雨隅田川増水で両国橋破損。	斉藤月岑:「東都歳時記」	12代/徳川家慶

1839年	天保10年	己亥	火事:3月2日-北本所から出火、小梅村へ飛び火向島寺島新田まで延焼。	5月蛭社の獄(高野長英自首)	12代/徳川家慶
1840年	天保11年	庚子	6月22~25日 連日風雨で隅田川増水5尺、両国橋小破。	3月遠山影元:町奉行に就任	12代/徳川家慶
1841年	天保12年	辛丑	江戸近辺の向島その他、田園を潰して下屋敷としたものは元の田園に復す触れ出し。	5月天保の改革 10月渡辺華山(49)自刃	12代/徳川家慶
1842年	天保13年	壬寅	4月江戸三座芝居、浅草へ移転(猿若町起立)。	2月為永春水:禁令に触れ手鎖	12代/徳川家慶
1843年	天保14年	癸卯	9月2日 暴風雨で出水、両国橋破損。火事:12月27~8日-鍛冶橋から出火、京橋・築地など類焼。	9月水野忠邦が老中罷免	12代/徳川家慶
1844年	弘化1年	甲辰	3月 大川三侯中洲切通その他浚渫・埋立て工事終わる。	12月寄席が自由化される	12代/徳川家慶
1845年	弘化2年	乙巳	青山火事:1月24日-青山権田原から出火、武家屋敷400、町屋126町を焼き死者多数をだす。	1個8文の稻荷鮓が流行	12代/徳川家慶
1846年	弘化3年	丙午	6月中旬以降、連日の豪雨で各河川増水、江戸内外を一面の泥海。	3月高野長英が脱獄	12代/徳川家慶
1847年	弘化4年	丁未	4月 両国橋修復工事成る。11月本所御米蔵3棟を増築。	2月寄席の取り締まり強化	12代/徳川家慶
1848年	嘉永1年	戊申	2月 両国橋・大川橋小修理行う。	品川に砲台が築かれる	12代/徳川家慶
1849年	嘉永2年	己酉	3月 新大橋改架工事成る。火事:8月24日 神田松枝町から出火。	4月葛飾北斎(90)卒	12代/徳川家慶
1850年	嘉永3年	庚戌	火事:4月15日-千住宿2丁目より出火、5丁目まで延焼。	斉藤月岑:「武江年表」	12代/徳川家慶
1851年	嘉永4年	辛亥	火事:1月4日-京橋新肴町から出火、銀座・尾張町・三十間掘など類焼。	2月力士が取組日数の不平を訴え籠城	12代/徳川家慶
1852年	嘉永5年	壬子	火事:1月4日-米沢町から出火、浅草までいた、雷門焼失。	1月嚴重な火の元取締令が出される	12代/徳川家慶
1853年	嘉永6年	癸丑	9月品川沖に砲台(御台場)築造。	6月浦賀にペリー来航	13代/徳川家定
1854年	安政1年	甲寅	火事:11月5日-浅草聖天町から出火、飛び火して小梅村の水戸藩下屋敷類焼。	11月畿内から江戸にかけて大地震	13代/徳川家定
1855年	安政2年	乙卯	火事:3月1日-小網町から出火。安政の大地震:10月2日大地震発生。死者3895人、倒壊家屋1万4346戸。	10月鯨絵が大流行	13代/徳川家定
1856年	安政3年	丙辰	8月25日 近來稀なる大風雨で前年の地震被害を免れた家屋が今回倒壊・流失。	3月築地に官立の講武所完成	13代/徳川家定
1857年	安政4年	丁巳	5月築地講武所内に軍艦教授所を置く。1014日ハリスが入府、見物人殺到	歌川広重:「名所江戸百景」刊行	13代/徳川家定
1858年	安政5年	戊午	火事:2月10日-安針町と長浜町の境から出火、飛び火して佃島まで延焼。	9月歌川広重(62)卒	14代/徳川家茂
1859年	安政6年	己未	1月英人が浅草・向島辺へ遊行の町触が沿道に出る。2月 大川橋開架工事着手(12月竣工)。	10月安政大獄 この頃寺子屋開設増加	14代/徳川家茂
1860年	万延1年	庚申	火事:1月23日-南茅場町より出火、霊岸島町・塩町・四日市町など類焼。	3月桜田門外の変	14代/徳川家茂
1861年	文久1年	辛酉	2月永代橋・新大橋・両国橋・大川橋の際に番所を置く。	5月英国大使館(高輪)を水戸浪士が襲撃	14代/徳川家茂
1862年	文久2年	壬戌	火事:2月19日-江戸橋から出火、万町・常盤町・本材木町1~8丁目まで類焼。	1月老中安藤信正を水戸浪士が襲撃	14代/徳川家茂
1863年	文久3年	癸亥	4月 西両国で牝像を見世物とする。この頃、浪士徘徊し辻斬り横行。	11月夜間、提灯なしの通行禁止	14代/徳川家茂
1864年	元治1年	甲子	火事:3月14日-瀬戸物町・室町から出火。11月越中島松平屋敷(1万5370坪余)を陸軍奉行方へ引渡。	7月桜田の長州藩邸を取上・打毀	14代/徳川家茂
1865年	慶応1年	乙丑	火事:12月12日-浅草草原町から出火、本所・深川猿江に飛び火。	7月海軍奉行が設置される	14代/徳川家茂
1866年	慶応2年	丙寅	5月 石川造船所で日本人設計の蒸気軍艦建造。11月9日神田より出火、八丁堀から飛び火し佃島延焼。	福沢諭吉:「西洋事情」初編	15代/徳川慶喜
1867年	慶応3年	丁卯	火事:1月7日-橋場総泉寺より出火、牛島に飛び火小梅村類焼。12月三田薩摩藩邸焼打。	10月大政奉還 江戸幕府崩壊	15代/徳川慶喜
1868年	明治1年	戊辰	4月11日江戸城開城 5月官軍が柳橋を撤去。5月15日上野戦争、東叡山寛永寺炎上1日で勝敗決す。	7月「江戸」を「東京」と改称 9月8日改元	
1869年	明治2年	己巳	5月中川船番所が廃止。6月浅草天文台屋敷撤去。12月築地運上所内に傳信機役所開設(日本初の電信局)。	2月東京を朱引内と朱引外に分ける	
1870年	明治3年	庚午	火事:12月16日-神田元岩井町から出火。12月両国橋・浅草観音など市内11ヶ所に「書状郵便所」を設置。	4月玉川上水の羽村~内藤新宿間通船	
1871年	明治4年	辛未	2月 深川万年橋際に利根川汽船会社が開業、川蒸気船で深川~中田(栗橋対岸)まで80km運航開始。	3月芝三田に慶応義塾が移転	
1872年	明治5年	壬申	12月3日 太陽暦採用で明治6年元日とする。9月鉄道開通式 天皇臨幸のもと「新橋鉄道館」で挙行。	2月「東京日日新聞」創刊(現毎日新聞)	
1873年	明治6年	癸酉	5月5日皇居炎上、赤坂離宮を仮皇居。5月日本橋(木橋)改架竣工。7月大川花火復活。	3月天皇が断髪	
1874年	明治7年	甲戌	1月浅草橋改架工事成り石造眼鏡橋となる。9月厩橋創架工事成り翌月開通式。	1月八重洲二丁目に東京警視庁設置	
1875年	明治8年	乙亥	3月源森橋を枕橋と改称。京橋改架(石橋)。5月江戸橋改架(石橋)。12月両国橋改架。	1月守田座が新富座に改称	
1876年	明治9年	丙子	火事:11月29日 1月回向院の大相撲、二場所制(春・五月場所)決定。2月大川橋改架工事着手。	5月上野公園が開園	
1877年	明治10年	丁丑	1月明石町に「海岸女学校」創立(青山学院の前身)。9月築地居留地に「東京一致神学校」創立(明治学院の前身)	8月上野公園第一回内国勸業博覧会開催	
1878年	明治11年	戊寅	6月本所仲ノ郷番場河岸に海軍兵学校水泳伝習所設置。10月竹橋事件陸軍兵士53名深川越中島で処刑。	5月紀尾井町で大久保利通(49)刺殺	
1879年	明治12年	己卯	火事:12月26日 2月南千住に「千住製絨所」設立。10月東京霊岸島新湊町~浦賀間の汽船が運航開始。	1月玉川上水・神田上水の実測図完成	
1880年	明治13年	庚辰	6月永代橋西詰で「北海道開拓史東京出張所」開設。12月25日隅田川結水。	8月京橋に専修学校(現専修大学)開校	

1881年	明治14年	辛巳	火事:1月26日-明治最大の火事。1月佃島からの「白魚献上」の慣例復活(宮内省に納入)。	1月数寄屋橋に明治法律学校開校
1882年	明治15年	壬午	5月築地本願寺新本堂落慶。6月佃島と深川越中島間に渡船開通。10月亀島川々口の高橋竣工(市内初の釣橋)	10月東京専門学校(現早稲田大学)開校
1883年	明治16年	癸未	1月築地居留地37番に「立教大学校」「三一神学校」創立。6月天皇、向島へ行幸。7月4日隅田川出水。	3月上野博物館で奈良法隆寺献納品公開
1884年	明治17年	甲申	1月 浅草橋改架(鉄橋に成る) 9月15日夜半から16日にかけて暴風雨、本所、深川全域出水。	3月向ヶ丘貝塚より弥生式土器発見
1885年	明治18年	乙酉	4月新大橋改架工事完了(木橋)。7月2日上流部の豪雨により千住大橋が流失。9月厩橋修復工事完了。	5月浅草公園内に花屋敷が開園
1886年	明治19年	丙戌	2月東京府、「水船営業規則」を公布。7月コレラ流行。	11月神田旅籠町に伊勢丹呉服店開店
1887年	明治20年	丁亥	火事12月19日 5月東京綿商社が隅田村鐘ヶ淵に紡績工場の建設を開始。12月吾妻橋改架。	銀座煉瓦街の街路樹が柳になる
1888年	明治21年	戊子	1月市村座新築開場。6月洲崎遊郭開業。7月築地の海軍兵学校が江田島へ移転。	7月大阪朝日新聞が「東京朝日新聞」発刊
1889年	明治22年	己丑	1月平野造船所が「有限責任石川島造船所」と改称。5月鐘ヶ淵紡績株式会社、隅田村で操業開始。	11月木挽町に歌舞伎座が開場
1890年	明治23年	庚寅	6月利根運河工事完成。11月浅草公園、「凌雲閣・十二階」開業。	9月日本法律学校(現日本大学)開校
1891年	明治24年	辛卯	8月お茶の水溪谷に吊橋(鉄橋)架かる。	3月神田駿河台のニコライ堂が開堂式
1892年	明治25年	壬辰	7月東京市会、佃島地先の新埋立地を「月島」と命名。	4月赤坂の福祿座など小劇場が開場
1893年	明治26年	癸巳	5月厩橋改架(鉄橋)工事間完成。佃島と月島を結ぶ「佃橋」竣工。神谷伝兵衛が中ノ郷瓦町に酒精工場建設。	11月日本橋に明治座が開場
1894年	明治27年	甲午	6月20日大地震。8月11日 暴風雨で隅田川堤防決壊、向島洲崎町浸水。	8月対清国宣戦布告
1895年	明治28年	乙未	1月18日 地震本所区内家屋破損113ほか 6月コレラ流行。	10月日本に広告取次店博報堂設立
1896年	明治29年	丙申	2月南新堀町1丁目10に「日本商船株式会社」設立。9月16日 暴風雨で中川六ツ木堰決壊。	11月樋口一葉(25)卒
1897年	明治30年	丁酉	8月両国川開きで両国橋欄干墜落。11月永代橋(鉄製トラス型 長100間・幅46尺)改架竣工。	1月尾崎紅葉「金色夜叉」読売新聞連載
1898年	明治31年	戊戌	6月5日暴風雨で江東一帯浸水 7月浅草橋改架工事成る。	12月上野公園で西郷隆盛像の除幕式
1899年	明治32年	己亥	1月第1期水道工事完了、給水開始(江戸期以来の神田・玉川上水の廃止)。	1月勝海舟(77)卒
1900年	明治33年	庚子	9月20日津波 洲崎弁天町被害。千住吾妻急行汽船会社設立、浅草吾妻橋～千住大橋間通称青蒸気を運航。	8月三遊亭円朝(62)卒
1901年	明治34年	辛丑	12月月島渡船が、東京市の運営となり汽船曳船無料化。	2月福沢諭吉(68)卒
1902年	明治35年	壬寅	1月深川越中島に東京高等商船学校、校舎竣工で移転。8月10日連日豪雨で隅田川出水。	9月正岡子規(36)卒
1903年	明治36年	癸卯	3月相生橋架設により月島へ水道開通。浅草に「電気館」開場(常設映画館の始め)。	6月日比谷公園の開園式
1904年	明治37年	甲辰	3月浅草橋～雷門間に電車開通(鉄道馬車一掃)。9月新大橋改架竣工(鉄橋) 11月両国橋改架竣工(鉄橋)	3月日露戦争
1905年	明治38年	乙巳	1月日露戦役勝利記念の「かちどきの渡し」開業。6月市電、「両国橋東詰」～「緑町」開通。	9月日比谷でポーツマス講和反対国民大会
1906年	明治39年	丙午	8月24日暴風雨出水。12月 第一期隅田川口工事起工。	3月東京市電値上げ反対市民大会開催
1907年	明治40年	丁未	8月22～26日 連日豪雨で荒川氾濫。12月本所区に天然痘発生。	1月東京株式相場が暴落(日露戦後恐慌)
1908年	明治41年	戊申	2月隅田川で大鮫生り捕り。10月皇孫向島百花園に行啓。12月数寄屋橋際に有楽座開場(日本初椅子席劇場)。	11月日比谷図書館が開館
1909年	明治42年	己酉	6月両国大相撲常設館の「国技館」開場。	10月伊藤博文(69)卒
1910年	明治43年	庚戌	8月10日明治期最大の水災となり、抜本的な治水事業早期実現の端緒となる。	12月南極探検の白瀬大尉芝浦を出港
1911年	明治44年	辛亥	浅草吉原の火事:4月9日-廊内各町を全焼し害は千住まで及ぶ。	10月歌舞伎座、純日本様式改造工事竣工
1912年	大正1年	壬子	7月新大橋(鉄橋)改架工事竣工。11月京成電気軌道の押上～柴又～市川開通。	2月荒川堤の桜苗3000株を米国へ寄贈
1913年	大正2年	癸丑	2月市電、水天宮～菊川橋間開通(新大橋を渡る)。荒川放水路開削工事開始。	8月神田に岩波書店が開業
1914年	大正3年	甲寅	5月白鬚橋(木製)創架。12月東京中央停車場開駅式挙(東京駅と命名)。	12月東京駅が開業
1915年	大正4年	乙卯	7月木場銀行破綻で材木商42店倒産。	12月東京株式相場が暴騰(大戦景気始る)
1916年	大正5年	丙辰	5月羽田に民間飛行学校設立(わが国最初)。8月本所病院開院。	12月夏目漱石(50)卒
1917年	大正6年	丁巳	9月30日大暴風で死者・行方不明者1300名・倒壊・流失)4万3000戸。	11月両国国技館が全焼。
1918年	大正7年	戊午	4月 ゴミ処理、東京市営となる。 8月13日日比谷公園での集会が暴動化(米騒動)。	4月東京女子大学が開校
1919年	大正8年	己未	7月市電・京成押上駅～十間橋間開通。南葛飾・南足立・北豊島各郡で「江戸川上水町村組合」設立。	3月中央本線の東京～万世橋間が開業
1920年	大正9年	庚申	1月 両国国技館・新築開場。5月8日深夜の豪雨で本所・深川出水。	3月東京株式取引所が株価暴落で休業
1921年	大正10年	辛酉	1月城東電車・亀戸町水神～大島町間開通。 8月深川越中島地先の埋立工事完了。	1月深川清澄町の庭園を岩崎家が開放
1922年	大正11年	壬戌	1月 砂町で運河開削工事開始。4月江戸川上水町村組合による上水道建設工事開始。	7月永代橋改架で仮橋工事開始

1923年	大正12年	癸亥	3月三河島荒川沿岸に市立汚水処理場開設。9月1日関東大震災(死者・行方不明9万余人、全壊焼失46万戸)。	5月歌舞伎座竣工(9月1日大震災で消失)
1924年	大正13年	甲子	10月岩淵水門竣工、荒川放水路通水式挙行。東武鉄道・浅草(現・業平橋)～西新井間電化。	6月築地小劇場が開場
1925年	大正14年	乙丑	1月歌舞伎座復興開場。2月新橋演舞場開場。8月～9月南千住汐入・芝・品川でコレラ発生。	7月東京放送局芝愛宕山より本放送開始
1926年	昭和1年	丙寅	4月芝浦大棧橋竣工。8月江戸川上水組合、各町へ給水開始。11月相生橋竣工。	1月千住火力発電所竣工。
1927年	昭和2年	丁卯	6月駒形橋架橋。9月深川越中島・佃島を結ぶ相生橋竣工。11月蔵前橋竣工。11月千住大橋竣工。	12月上野～浅草間地下鉄道開通。
1928年	昭和3年	戊辰	2月言問橋架橋。吾妻橋竣工。3月清洲橋架橋。4月京成電軌・向島～白鬚間開通。	10月東京松竹楽劇部が設立(後SSK)
1929年	昭和4年	己巳	9月厩橋改架工事竣工。12月築地川にY字型の「三吉橋」竣工。	5月正午の時報・午砲(ドン)廃止
1930年	昭和5年	庚午	5月荒川放水路完成。10月大根改修工事完成(33年目)。12月吾妻橋高橋式。	3月「帝都復興祭」挙行。
1931年	昭和6年	辛未	3月「隅田公園」完成。6月白鬚橋改架竣工(鉄橋)。	10月両国橋駅を両国駅と改称
1932年	昭和7年	壬申	4月両国橋改架工事竣工。11月築地の聖路加病院竣工。	12月日本橋白木屋火災
1933年	昭和8年	癸酉	3月総武線・両国～市川間電化。5月築地～月島間の可動橋架設工事起工。	12月築地中央卸市場竣工
1934年	昭和9年	甲戌	3月尾竹橋竣工。8月日本橋区に「両国町」起立。9月21日室戸台風・江東地区出水。	5月東郷平八郎(88)卒
1935年	昭和10年	乙亥	4月隅田川改良工事竣工。10月江戸川上水道組合、東京市に移管。	2月築地の東京市中央卸売市場完成
1936年	昭和11年	丙子	2月京成電軌・向島～白鬚線、収入減で廃止。9月26日豪雨で本所・深川1万戸浸水。	2月皇道派青年将校らが拳兵(2.26事件)
1937年	昭和12年	丁丑	3月「江東楽天地」が開場(汽船製造(株)跡地)。7月浅草に「国際劇場」開場(定員4059名)。	7月北京郊外で日中両軍が衝突
1938年	昭和13年	戊寅	7月両国川開き大花火、時局に鑑み中止(明治45年以来)27年目)。	10月小倉のぶが百花園を東京市に寄付
1939年	昭和14年	己卯	1月大相撲春場所四日目・横綱双葉山、安芸ノ海に負ける(70連勝逸す)。	4月羽田空港開場。
1940年	昭和15年	庚辰	6月墨田川に勝鬨橋(双葉跳開橋)が完成。市営バス・渋谷～月島間路線開通。	8月東京府、食堂・料亭などの米食禁止
1941年	昭和16年	辛巳	旧安田庭園内の本所公会堂を両国公会堂と改称 5月東京港・開港	12月大東亜戦争・宣戦
1942年	昭和17年	壬午	4月米軍機B-25 16機の本土初空襲、荒川・王子その他被害。	5月与謝野晶子(65)卒
1943年	昭和18年	癸未	4月深川第10・8・7号埋立地に戦時練成農場を開設。10月洲崎遊郭廃業。	7月東京都制が施行
1944年	昭和19年	甲申	2月歌舞伎座など19劇場に休業命令。11月24日米軍機B-29 約70機、東京初空襲。	8月学童集団疎開第一陣上野を出発
1945年	昭和20年	乙酉	3月9-10日 B-29 334機下町空襲(死者約10万人、焼失戸数23万戸)。9月占領軍が京橋・月島辺小学校接收。	8月無条件降伏
1946年	昭和21年	丙戌	4月都電・月島8丁目～勝鬨橋間開通。10月浅草復興祭りと浅草観音開帳(入出40万人)。	1月築地松竹映画劇場開場。
1947年	昭和22年	丁亥	1月隅田川の寒中水泳復活(6年ぶり)。5月浜離宮庭園が進駐軍の練兵場になる。	9月キャスリーン台風(利根川決壊)
1948年	昭和23年	戊子	4月江東楽天地に宝塚歌劇が進出。8月両国川開き復活(11年ぶり)。	3月新橋演舞場、再建開場
1949年	昭和24年	己丑	5月百花園(戦災で焼失)が復興協賛会により再生。7月三十間堀川埋立て三原橋他8橋撤去。	4月隅田公園に少年球場開設
1950年	昭和25年	庚寅	4月隅田川汽船(後・東京水上バス)吾妻橋～両国間の運航再開。	1月両国国技館が浅草蔵前に移転
1951年	昭和26年	辛卯	4月三十間堀埋立地に東京温泉開業。5月浜町川埋立工事竣工。	1月歌舞伎座復興、開場式挙行
1952年	昭和27年	壬辰	5月上野公園～亀戸～今井(15km)都内最初のトローリーバス開通。	3月晴海埠頭建設工事開始
1953年	昭和28年	癸巳	10月鎧橋(都内最古の鉄橋)撤去。11月日本橋小伝馬町十思公園の「石町・時の鐘」都重宝に指定。	街頭テレビが人気を集める
1954年	昭和29年	甲午	3月築地中央市場に入荷のマグロなどから放射能検出(第五福竜丸漁獲)。	6月曳船川埋立工事着工
1955年	昭和30年	乙未	1月曳船川埋立工事竣工、小梅水門～地蔵橋間道路完成。中川護岸工事竣工。	5月晴海で第一回東京国際見本市開催
1956年	昭和31年	丙申	7月例年執行の「住吉の川渡し神事」墨田川汚濁で中止。8月築地川で中村雁治郎らによる船乗込み披露。	5月売春防止法公布
1957年	昭和32年	丁酉	1月トローリーバス、池袋駅前～亀戸4丁目開通(14km)。9月鎧橋、架替え工事竣工。	12月深川沖のゴミ埋立開始(夢の島)。
1958年	昭和33年	戊戌	2月晴海地区と深川地区を結ぶ「春海橋」改架。7月隅田川沿岸一帯、河川汚染による金属黒変現象。	12月東京タワー完成
1959年	昭和34年	己亥	2月京成、押上地下駅(都営地下鉄相互乗入口)の起工式。5月晴月橋架設工事竣工。	7月都バス錦糸町駅前～晴海埠頭前開通
1960年	昭和35年	庚子	4月隅田川と竪川の合流点に竪川水門竣工。5月浅草雷門建立(95年ぶり再興)。	12月都営地鉄1号線浅草橋～押上開通
1961年	昭和36年	辛丑	7月「両国の川開き」として228年の伝統を持つ隅田川花火大会が今回で停止。	9月15日第2室戸台風。
1962年	昭和37年	壬寅	1月「佃新橋」起工式。5月営団地下鉄日比谷線、人形町～北千住間開通。	2月都の常住人口が1000万人突破
1963年	昭和38年	癸卯	3月辰巳水門竣工。中川放水路完成。6月明石町と佃島を結ぶ橋(佃大橋)に日本最大の橋桁架設。	8月砂町水門竣工。
1964年	昭和39年	甲辰	7月佃大橋架橋、佃の渡し廃止。10月東京オリンピック聖火が隅田川上を通過。	10月第18回オリンピックが東京で開催

1965年	昭和40年	乙巳	2月玉ノ井「おはぐろどぶ」暗渠。10月隅田川沿岸住民の「隅田川浄化促進大会」開催。	9月都下水道局尾久ポンプ場完成
1966年	昭和41年	丙午	1月永代橋、補修工事のため通行止。「江戸前のハゼを守る会」を日本釣魚会連盟など11団体結成。	4月銀座にソニービル完成
1967年	昭和42年	丁未	4月夢の島へのゴミ投棄終了。都、北区の浮間下水処理場作業開始。	12月都電撤去本格化。
1968年	昭和43年	戊申	5月尾久橋竣工。9月トロリーバス、上野公園～今井、池袋～亀戸の2線廃止。	2月都電11系統(月島～新宿)廃止。
1969年	昭和44年	己酉	2月東京駅八重洲大地下街完成。3月営団地下鉄東西線全線開通。	10月鐘紡東京工場閉鎖。
1970年	昭和45年	庚戌	1月落語席亭人形町「末広亭」閉鎖。8月銀座・浅草などで日曜日の歩行者天国実施。	11月作家三島由紀夫が割腹自殺
1971年	昭和46年	辛亥	3月国鉄が山手線の呼称を「やまて線」から「やまて線」に統一。	7月銀座三越に日本マック第1号店開業
1972年	昭和47年	壬子	7月15日国鉄東京地下駅完成、総武地下鉄新線の東京～錦糸町間が開通。	4月川端康成(72)卒
1973年	昭和48年	癸丑	5月22日 江東区区議会が杉並区のごみを「新夢の島」へ搬入拒否。	9月中央線にシルバーシートが登場
1974年	昭和49年	甲寅	1月 東京の無降水が71日の新記録で各地で火災発生。	4月東京国立博物館でモナリザ展開催
1975年	昭和50年	乙卯	6月10日 銀座の、都営浴場第一号「銀座湯」完成。	乱塾時代(小学生62%。中学生45%塾通)
1976年	昭和51年	丙辰	10月1日 国鉄総武線の東京～品川間地下線開通。	2月浅草電気館(最古常設映画館)閉鎖
1977年	昭和52年	丁巳	9月5日読売巨人軍のお王貞治が初の国民栄誉賞を受賞。	4月有楽町日劇ミュージックホール閉鎖
1978年	昭和53年	戊午	7月29日 墨田川の花火大会が17年ぶりに復活。	9月八重洲ブックセンター開店
1979年	昭和54年	己未	隅田川大橋架橋。12月地下鉄千代田線北綾瀬～代々木上原間全線開通。	6月第五回先進国首脳会議が東京開催
1980年	昭和55年	庚申	4月25日 銀座昭和通り歩道わきで自動車運転手が1億円拾う。	校内暴力・家庭内暴力が急増
1981年	昭和56年	辛酉	1月28日 有楽町日本劇場で「サヨナラ日劇フェスティバル」公演開催(48年の歴史に幕)	ノーパン喫茶が流行
1982年	昭和57年	壬戌	1月15日浅草国際劇場で松竹歌劇団(SKD)が最終公演。	3月上野動物園で創立100周年記念
1983年	昭和58年	癸亥	4月15日 浦安市に東京ディズニーランドがオープン。	3月片岡千恵蔵(79)卒
1984年	昭和59年	甲子	9月23日蔵前国技館が両国国技館新設により35年の歴史を閉じる。	10月有楽町日劇跡にマリオン開業
1985年	昭和60年	乙丑	1月7日東京の環状7号線全線開通 1月9日 両国に新国技館開館。	9月都庁の新宿移転決定
1986年	昭和61年	丙寅	11月15日伊豆大島三原山が209年ぶりに噴火。11月16日江東区に深川江戸資料館開館。	地上げ屋が横行
1987年	昭和62年	丁卯	6月3日都が、臨海部副都心建設の開発基本構想を発表。	10東京株式市場が下落率過去最大
1988年	昭和63年	戊辰	3月17日後楽園に屋根付き球場「東京ドーム」完成。	自粛ブーム

江戸下町文化研究会編集 引用・参考文献 「武江年表」齊藤岑月著平凡社：「年表 隅田川」真泉光隆著日本図書刊行会：「江戸東京年表」吉原健一郎・大濱徹也編小学館：他